

5
30

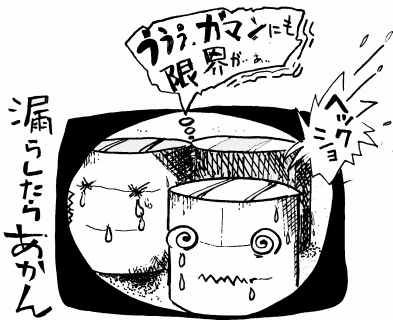
チェルノブイリから28年、3年目の福島ー子どもたちは今..

映像とトークで学ぶ子ども保養学習会へのお誘い

この国に住む誰にとっても忘れることのできない『3.11』から3年が過ぎて、どこことなく記憶の風化が広がっている感があります。しかしいまだに放射能流出を止められない現実が続いています。

原発事故当事者の東電が国から手厚い保護を受ける一方で、人生を丸ごとひっくり返された被害者たちは泣き寝入りを強いられるような不条理に置かれています。

とりわけ何の非もない子どもたちが屋外で遊ぶことさえはばかれる環境に暮らしていることを私たちは深く憂慮します。たとえ僅かな期間でも福島の子どもたちが放射能濃度の薄いところで過ごすことが、将来の放射能禍を薄めることに繋がるならば…と考え、多くの方々のご協力を得ながら、杉並でも「福島の子ども保養プロジェクト」を実施してきました。今年の夏も、子ども保養プロジェクトを行う予定です。ボランティア参加したい方はもちろんのこと、福島の実実をもっと知りたいとお思いの方も是非ご参加ください。



ドキュメンタリー映像&トーク

DVD上映 制作：OurPlanet-TV

『チェルノブイリ・28年目の子どもたち』

学校や医療機関でどのように健康診断を行い、保養につなげているのか。子どもたちの暮らしは怎么样了のか。そして母親たちの心中はー。日本にとって参考になる具体的な取組みや日々の暮らしを取材しました。

お話：白石 草さん

(非営利独立メディアOurPlanet-TV代表・一橋大学院客員准教授)

「福島の子どもたちの現状…保養のありかたについて」

お話：吉野 裕之さん (NPO法人シャローム災害支援センター)

日時：2014年5月30日(金) 午後6時10分(開場) 6時30分(開演)

会場：あんさんぶる荻窪

第1-第2-第3教室 <JR荻窪駅 西口から徒歩5分>

● 資料代：500円

